

株式会社阿波市場

古きを訪ね、新しきを知る 温故知新の心で、この海の幸を生かし切る

鳴門の豊かな海と生産者に感謝しながら

昔ながらの製法にこだわり、丁寧な手作業で、海の幸を届ける。

大切な地域の資源をあますことなく使い切りたくて

わかめの成分の可能性に着目。

様々な分野に生かすことで、残渣ゼロをめざしていく。



鳴門わかめのメカブから抽出したエキス配合化粧品と 剣山引き茎カットわかめの開発、製造、販売

1. 取り組みの経緯

原藻から塩蔵わかめやカットわかめを作る際、廃棄されるメカブと茎を有効利用し、漁師の収入増に繋げるとともに、処理コストも削減したいと考えた。そんな折、わかめの残渣を入浴剤やトリートメントとして利用している加工所の女性たちの肌や髪が艶やかなことにヒントを得て、メカブエキスの化粧品利用を思い立つ。同時に古くからの茎の加工法を今に蘇らせ、新商品の開発をめざした。



▲栄養価の高いメカブと茎を有効利用

2. 実施内容

裁断機・専用釜・加熱装置・濾過機を導入。協力会社とノウハウを共有しながら、試行錯誤の末、透明で純度の高いエキスの抽出・精製に成功。化粧品としての品質レベルをクリアし商品化を図る。また茎の部分を自社開発の剣山で細密な細削りにし、乾燥・風力選別から自動軽量・袋詰めまで、独自の加工法により、処理量の倍増も実現。市場にない付加価値の高い新商品が生まれた。



▲裁断機

3. 取り組みの成果

肝機能や免疫機能を高めるメカブのネバネバ成分・フコイダンが美白効果を発揮、保存料・合成着色料フリーで誰でも安心して使える天然由来の化粧品。そして、使いやすく栄養価の高い新食感の茎加工品。いずれも関東の生協やセレクトショップ、自社オンラインショップで販売し、リピーターが増えている。引き続き、健康飲料の研究開発や、堆肥化による循環型農業の提案にも着手している。



▲専用窯を導入し、ボイル加工された鳴門わかめ

事業者から一言 メカブも茎も素晴らしい！

一番栄養価が高いのにその大部分が捨てられるメカブをなんとかしたい、素晴らしい地域の資源を無駄にせず、自社と地域のために有効活用したいと思ったのが始まり。大学や製薬会社などの協力も得ながら、鳴門わかめのブランド力を生かして、さらに新しい利用法を開発し、残渣ゼロをめざします。



代表取締役
上野 伸介氏

株式会社阿波市場

〒772-0060
徳島県鳴門市瀬戸町明神字式軒家3-8
Tel.088-612-7433 Fax.088-612-7434
●代表取締役 上野 伸介
●設立年月日 平成20年12月
●資本金 1,000万円
●業種 食品加工業
●従業員数 20名
●ホームページ <https://awaichiba.com>